因ニ本思想ハ右ハ北ヘ [illegible]

[illegible]

大阪[illegible]労働組合長[illegible]飯在[illegible]夫人ハ[illegible]

一千（二月）ヨリ[illegible]死シタ[illegible]

幸福[illegible]

[illegible]

兄弟は横[illegible]！

鑄物工の諸君。お互に苦しいではないか、今の世の中では、大なる資本家は遊んで居つても、段々富榮へて行くが我々勞働者は一生懸命稼いでも夜の目も寢んこ働いても、相變らず貧乏ではないか。勞働者は情けない者だ、が其の中でも我々鑄物工程みじめな者はありはしない。

何千度の熱火を取扱ひ毎日幾人となく兄弟は火傷の爲め不具者となつて居るではないか。道を歩いて居ても鑄物工は一目見ても直ぐわかる程骨と皮とになるまで資本家に搾り取られて居るのだ。まして小工場主は大資本家の夢を見て大工場の横暴より以上兄弟をいじめて居るではないか。やれ不景氣だ仕事が無いとて兄弟が朝早くから辨當を下げて仕事に出ても一錢もあたれず、又仕事が有れば尻から火の付く樣においまわすではないか、其の上何時首が飛ぶかわからない。首が飛べば自分ばかりか親妻子の命をたつのだ。それに解雇手當どころか豫告手當も出さず首を切つて居るではないか、我等は仕事をして居る時でも不安でならないので我々は色々考へた。そして弱い私達も團結すれば力が出來る事を知つた即ち鑄造工組合を設立したのだ。

諸君よ兄弟のため團結せねばならない。資本家の暴戻勝つか私達の正義が勝利を得るか是から火花を散らすのだ。

兄弟に親愛なる同志よ、目醒めて組合を絶大なる團結力にせられよ。

『御話しの有る諸君は御遊びに來て下され』

大阪市西區八幡屋町二〇九
（市電市立運動場前下車角）

大阪鑄造工組合